

山ぼうし

第4号 平成17年7月28日 発行

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、

花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし

の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



「なせば成る」の精神で！！

台風一過久しぶりに夏らしい日差しが戻ってきました。いよいよ諸君が待ちに待った夏休みが始まります。ここで、この4月からの諸君の生活を振り返って欲しいと思います。充実した日々を過ごすことができたでしょうか？

7月の初旬には三者面談が行われ、成績や部活動、生活の様子などが確認されたことと思います。成績会議では、学習状況が報告されました。3年生の諸君は欠点の数もほとんど無く、よく頑張っていました。しかし、1・2年生では、欠点の数も例年と比較して多く、心配される状況です。また、生活面では問題行動等は減少しており、落ち着いた生活を送っている生徒諸君が沢山いますが、努力を怠り、生活のリズムを崩したりして遅刻や欠席の増えてしまった人もいます。心当たりのある諸君は、この結果を引きずらないように夏休みに立て直して欲しいものです。

さて、高総体や県民大会では多くのクラブが県大会に出場し、大活躍しました。中でもインターハイへの出場は成らなかったものの東北大会へと駒を進めるなど、卓球部と弓道部の活躍は立派でした。また、硬式野球部も先日の夏の大会では伝統のある花巻北高校を相手に善戦し、勝利まであと一歩でした。サッカー部とラグビー部は3年生にとって最後の大会となる選手権大会に向けて頑張っています。悔いの残らないように全力を出し切って戦って欲しいものです。

多くのクラブでは、3年生が引退し、1・2年生による合宿を予定しており、基礎作りの段階です。「夏休みを制する者は、秋の新人戦を制す」と言います。夏休みにおける毎日の積み上げはきつくて辛い事です。しかし、この辛さを耐え忍ん

教頭 佐々木 和 正

で身につけた実力は本物となり、新人戦での活躍となって現れてくるでしょう。

3年生の諸君にとっては、高校生活最後の夏休みとなります。この暑い夏休みをどう過ごすかで自分の進路が実現できるかどうか決定すると言っても過言ではないでしょう。夏休み明け1ヶ月後に就職試験があるのです。また、1・2年生の諸君にとってもこの夏休みをどう過ごすかが学習面でも部活動面でも非常に大切で、その成果が秋に現れてくるのです。

大切なことは「自分をその気にさせる」事です。江戸時代の米沢藩主の上杉鷹山は「なせば成る。なさねば成らぬ、何事も。成らぬは人の成さぬなりけり。」とっています。この意味は、「人間、やろうと思って行動すれば、必ず成功する。やらなければ成功することなど絶対ないし、何も得るものなどありえない。」ということです。「何事も」なのです。例外なく、どのようなことでもなのです。頭の良さでもなく、能力がある無しではなく、スタイルの良さでもない。本気でやろうとするかどうかで、物事は決まると言っているのです。

この夏休みを乗り切るのに必要なことは、繰り返しになりますが、自分の「やる気」です。自分の目標の一つは決めて、本気で取り組んでみてください。自分をその気にさせて、自分の将来を見定めて、計画を実行してください。毎日の積み重ねを大切にすることです。

夏休み明けには、精神的に一回り二回りたくましくなった諸君と会いたいものです。

8・9月行事予定

8月12日(金)	同窓会総会
8月18日(木)	授業始め式、休み明けテスト
8月25日(木)	服装・頭髪検査
9月5日(月)～8日(木)	第2期末考査
9月16日(金)	就職試験開始
9月29日(木)	ロボット競技校内大会



※ 9月1日(木)～16日(金)に地区PTAが予定されています。

第57回岩手県高等学校 県民体育大会 結果

○卓球部

(シングル 11名出場)

ベスト16

電子機械科3年 永洞武彦君

機械科2年 中村真大君

電子機械科2年 菅野文矢君

決勝リーグ進出

電子機械科3年 佐々木進治君 (8位)

○弓道部

男子団体・近的競技 24射5中 25位

男子団体・遠的競技 24射8中 13位

○ラグビー部

Bブロック 1回戦 本校 34 - 0 水沢

2回戦 本校 21 - 10 岩手

A・Bブロック入替戦

本校 0 - 21 盛南

○バスケットボール部

1回戦 本校 78 - 55 釜工

2回戦 本校 59 - 124 盛南

○柔道部

軽量級

ベスト8

機械科3年 中西大河君

中量級

1回戦敗退

軽重量級

2回戦敗退

無差別級

ベスト16

機械科1年 伊藤和也君

○剣道部

男子団体戦

1回戦 本校 対 一関学院 4勝1敗

2回戦 本校 対 花南 1勝4敗

個人戦 (2名出場)

ベスト16 電子機械科1年 橋本拓朗君

ベスト8 電子機械科1年 前川裕司君

第18回全国高校将棋竜王戦岩手県予選

(3名出場)

C級 2回戦進出

C級 3回戦進出

B級 3回戦進出

硬式野球部の夏



去る7月14日(木)、宮古工業高校硬式野球部は、甲子園を目指した夏の大会の一回戦、花巻北高校と激突した。序盤は投打ともに遺憾なく実力を発揮して大きく相手を突き放したものの、最終回にサヨナラ負けという苦杯を飲む結果となった。雨の降り続ける中、全校応援の声援、駆けつけた父兄の皆さんの激励は宮工ナインを励まし、奮い立たせ続けたものの、勝負の神はとうとう宮工野球部に微笑むことはなかった。スコアは最終的に8-9。

夏の大会に向けて、宮工野球部の道は決して平坦ではなかった。故障者も多く、また毎日の厳しい練習、毎週の遠征練習試合を乗り越えていく中、選手一人ひとりが自分の中の弱さを克服し、技術、精神力の向上を果たして当日を迎えたのである。特に3年生メンバーの9人は最後の夏に向けて、チームのために必死に励み続けた。今年の3年生はキャプテンを中心に皆、地道な努力を惜しまない選手ばかりだった。

ベンチでもダイヤモンドでも、選手たちはお互いに声をかけ、肩をたたきあいながら苦しい試合を笑顔で9回やりぬいた。宮工野球部は夏を迎え、確かに本物のチームワークを勝ち取り、

一つになっていた。試合終了後、観客席から届いた「ナイスゲーム」の声。選手たちの胸にはきっと響いていたに違いない。試合には勝てなかったものの、彼らは一人ひとりの心に残る大切なものを勝ち取り、そして観客席に大きな感動を与えたのである。

※この場をお借りして、ここまで野球部を支えてくださった全ての方に感謝を申し上げます。今後ともどうか格別のご配慮をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

宮古工	0	3	2	3	0	0	0	0	0	8
花巻北	1	0	1	0	0	0	4	1	2x	9